

第173回東北地方交通審議会
船員部会議事要録

令和5年3月24日
東北地方交通審議会
船員部会事務局

東北地方交通審議会

第 1 7 3 回 船員部会

日 時 令和 5 年 3 月 2 4 日 (金) 1 3 : 3 0 ~

場 所 仙台第 4 合同庁舎 4 階会議室

出 席 者 公益委員 : 高橋(真)部会長、増田部会長代理
豊田委員、鈴木委員

労働者委員 : 甲斐委員、高橋(雅)委員、奈良委員

使用者委員 : 増富委員、平岡委員、村上委員

運 輸 局 : 佐藤海事振興部長、今泉海事振興部次長

菊地船員労働環境・海技資格課長

上村船員労政課長、鈴木専門官、鈴木労政係長

1. 開 会

2. 議 題

(1) 審議事項

船員の特定最低賃金の改正決定に関する公示について

(2) 管内の雇用等の状況について

(3) 情報提供について

(4) その他

3. 閉 会

(資料)

資料 1 船員の特定最低賃金の改正決定に関する公示

資料 2 船員職業安定業務取扱状況説明資料 (1 月分)

資料 3 新規求人・求職数 (東北管内 : 3 年対比)

資料 4 有効求人・求職数 (東北管内 : 3 年対比)

資料 5 新規求人・求職数 (全国)

資料 6 有効求人・求職数 (全国)

資料 7 有効求人倍率 (東北管内)

資料 8 有効求人倍率（全国）

資料 9 令和 5 年度の船員部会開催（案）について

【今泉海事振興部次長】

〔第 173 回船員部会の成立状況について報告〕

〔配布資料確認〕

◎議 事

【高橋部会長】

それでは、早速議事に入りたいと思います。

お手元にあります議事次第の「議題（１）船員の特定最低賃金の改正決定に関する公示」について、事務局からお願いします。

〔上村船員労政課長から資料 1 に基づき説明〕

【高橋部会長】

ただいまの報告内容について、何かご意見ご質問はありますか。

なければ、ただいま報告があったとおり、改正公示が終了する 4 月 16 日から最低賃金が引き上げられることとなります。

それでは、次に「議題（２）管内の雇用等の状況について」、事務局から資料の説明をお願いします。

〔上村船員労政課長から資料 2～8 に基づき説明〕

【高橋部会長】

ありがとうございました。

ただいまの報告内容について、何かご意見ご質問はありますか。

ないようですので、ご了承いただいたものといたします。

続きまして、「議題（３）情報提供について」に入ります。委員の皆様から情

報提供をお願いします。

それでは、まず労働者委員から情報提供をお願いします。

【高橋（雅）労働者委員】

先月末に労働協約の改定の要求書を各船主団体に提出し、中央で昨日までで4回ほど交渉しており、大型カーフェリー、内航2団体、全内航と3つありますが、大型カーフェリーについてはまだ会社側のベースアップの金額がまとまらないということで、来週の月曜日に5回目の交渉をやると。それと全内航と内航2団体、こちらも手当の部分は組合の要求どおり回答があったのですが、ベースアップの部分が船団側のほうでまとまらないということで、下部の委員会を設け、そこでお話をしているという状況です。こちらも来週の28日に小委員会が開催されます。

あと、中・四国の旅客船の交渉です。こちらも2月末に要求書を提出し、これまで3回交渉しておりますが、やはりこちらもまとまっていないという状況です。

【高橋部会長】

ありがとうございました。

そのほか労働者委員からありますか。

【奈良労働者委員】

小名浜地区は、遠洋マグロ2社、それからサンマ棒受け網漁船6社、それからタグボート1社で、2月末に要求しまして、現在鋭意交渉しております。

【高橋部会長】

ありがとうございます。八戸のほうは。

【甲斐労働者委員】

八戸地区の交渉です。遠洋マグロ漁船3社、タグボート1社、旅客船1社、あと無線局ということで、2月28日に要求を出したのですが、今はまだ交渉中。妥結している会社は1社もないという状況です。

あと、中型イカ釣り漁船ですが、今年度の操業ということで全船切り上げを行っています。水揚げの量については、ムラサキイカが33%の減、冷凍のスルメイカが38%減と、いずれも昨年の水揚げ量をさらに下回った結果になっております。

ただ、水揚げ金額については、原料の不足ということもあってかなり高騰しており、金額は昨年を上回った船舶が多かったという結果になりました。

【高橋部会長】

ありがとうございます。

ただいま労働者委員のほうから報告がありました。それらについて何かございますか。

水揚げが減っていることで、水産加工の業者さんの影響はどうなっていますか。

【甲斐労働者委員】

かなりあると思います。高騰している原因というのが、輸出がかなり多くて、現地というかその地域の加工屋さんが買えないというところもあって、かなり厳しい状況が続いているという話は聞いております。

【高橋部会長】

分かりました。ありがとうございます。

それでは、使用者委員からお願いします。増富委員、お願いします。

【増富使用者委員】

先日、マスク着用の考え方について、個人の判断に委ねられるという決定がありましたが、旅客船及び屋形船につきましては、これまで正当な理由もなく一方的にマスクの着用を拒否し続ける場合は乗船を拒否する場合も想定できたのですが、今後、本人の意思に反してマスク着用を強いることはできなくなり、マスクの未着用を理由に乗船を拒否することはできないということが旅客船としても方針として出されたところです。

【高橋部会長】

分かりました。ありがとうございます。

そうすると、例えば乗客の方から、逆に言うとマスクをしている人から苦情が来るという場合、どうやって対応するのですか。

【増富使用者委員】

それも考えられるのですが、強制できませんよという話があるということ、事業者がうまく対応していくしかない。

【高橋部会長】

換気は今までどおりですか。

【増富使用者委員】

それも事業者の判断ですが、協会内では続けてやっていくことになっています。

【高橋部会長】

分かりました。ありがとうございます。

それでは、平岡委員、ありますか。

【平岡使用者委員】

3月13日に東北運輸局さんと東北内航海運組合で東北内航船員対策連絡協議会を4年ぶりに開催させていただき、ありがとうございました。

意見交換では、船員不足の厳しさが増しているということが報告され、引き抜き行為がやはり以前より多くなっていること、休憩や休日をしっかりとれるようにゆとりを持った運航スケジュールに変更していること、多くの会社で派遣船員を活用していること、船員の定着を図るためにWi-Fiを導入するなど福利厚生を改善している会社もございました。

【高橋部会長】

ありがとうございます。

村上委員、ありますか。

【村上使用者委員】

私、12月から欠席していたのですが、この間、議事録を見ました。それで、唐津の海技学校が今度から航海専科になるという話がありました。あと小樽が2021年に既にそうなっていると。議事録には、今後機関士の有資格者の確保が懸念されるという話がありました。実際に気仙沼でも、航海士よりも機関士の不足が目立っていると実感をしています。

それが懸念されるということと、あと毎月このように求人・求職の資料の数字を頂いていますが、この中で、例えば求人は機関士の求人が多くて求職は航海士が多いとか、そういう状況になっているのかどうか、分析をするにあたって、機関士、航海士、あと遠洋船でいうと無線部、通信長の求職であるとか、あとは一般の機関員、甲板員もありますが、そういう求めている職種と、お互い求人でも求職でもその数字がどうなっていくか、ミスマッチというか、そういうところが調べるとあるんじゃないかなと思っていました。

【高橋部会長】

ありがとうございます。

今、村上委員からあった職種別のデータとしてはあるのですか。私たちの資料で事務局側から報告されているのは求人・求職で漁船と商船で分けていますが、村上委員からあったように、その中身に関してのデータというものはあるのですか。

【上村船員労政課長】

資料を作成する際、甲板部、機関部と書いていますが、例えば甲板部であれば一等航海士希望とか、船長希望とか、具体的に書いている求職者の方もいますので、そういった方は甲板部のほうに計上しておりますし、同じように機関長、ファーストなどと書いている方は機関部という形で計上しておりますので、そういう希望も掘り下げれば……

【高橋部会長】

データとしては出ますか。

【上村船員労政課長】

そこは、職の希望という形では出るかと。

【鈴木公益委員】

では、ちょっと参考までに。宮古海上技術短期大学校の鈴木です。細かい数字は手持ち資料がないので、ざっくりしたお話になるのですが、本校にいただく求人、内航船あるいは漁船も含めまして、やはり割合的には6割7割が航海士の求人で、機関よりも実際多いです。

今年の卒業生が40名いたのですが、学生の進路別でいくと、これまたざっくりですが航海系に6割、機関系に4割が就職をしております。

先ほどご指摘のあった航海専科が多くなると機関のほうの人員が心配だというお話がありましたが、実は現在我々機構全体の学校教員も機関の教員がかなり不足しており、ほぼ全校が欠員、マイナスでやっているような状況です。

我々機構は、今後短大化ということで、中学校卒業生を対象とした学校、まだ館山とか九州の口之津にはあるのですが、そちらの学校も含め今後短大化という話があります。ただ、そのときに、今お話し申し上げましたとおり機関の先生がいない状況で、宮古の本校は航海・機関両方の専修科という学校になっていますが、現在この学校が宮古、清水、波方の3校です。ここ数年、新しくできた短大は全て航海専科になっているのが現状です。正直言いますと、機関を教える教員が不足しているのが学校の現状ということでご紹介をさせていただきたいと思えます。

【村上使用者委員】

就職する方の6割が航海士ということですが、その就職の決まった方の乗船する船、それは商船、漁船で同じ6割の割合になっているのでしょうか。

【鈴木公益委員】

商船と漁船の割合ですか。

【村上使用者委員】

そうですね。就職する方の6割が航海士ということですが。

【鈴木公益委員】

前回のウェブ会議の際にお話をして、今日お手持ちの資料の第172回の議事録の中に、ちょうど6ページにあります。この真ん中の下ぐらいの参考までにと
いうところで、これはデッキ、エンジン（航海、機関）というわけではないので
すが、船種別でいうと37名卒業し25名が内航船で、タグボート、フェリー、
官庁船。水産系は今年は2名という数になっております。それぞれの航海か機関
かまでは、手持ちの資料がないので。

【村上使用者委員】

漁船か、内航船とか貨物船だとかというところで、私が携わっているのはどう
しても漁船なものですから、漁船に関しては機関士の有資格者がものすごい減っ
ているというところを実感していますので、先ほどそのお話をしました。

【高橋部会長】

ありがとうございます。

使用者委員のほうからいろいろお話がありましたが、それに関して何かご質問
等がありますか。

【増田部会長代理】

育成の状況があまりよく分かっていないのですが、機関で免許というか資格を
取られている方が転換するというのはなかなか大変なんではないでしょうか。働きながら
少し追加の教育を受けてということは、あまり考えられないことですか。

【鈴木公益委員】

本校の場合は、在学中に航海と機関を両方学習しまして、卒業時の3月に臨時
試験を行いますと結構な割合で両方の免許を持って卒業します。ただ、免許を持
っていても、やはり会社からの求人というのは実は航海士が欲しい、あるいは機

関心が欲しい、それで本人が例えば機関を希望すればその機関の求人の方々に履歴書を送るといった形になりますので、入った後で、本校の卒業生であれば、履歴だとかの関係もありますが、とりあえずは口述試験で合格をすれば免状は手にすることができるという状況で卒業していきます。

【増田部会長代理】

ありがとうございました。

【高橋部会長】

そのほかございますか。

ないようですので、それでは「議題（４）その他」に入ります。

資料９の令和５年度の船員部会開催（案）について、事務局から説明をお願いします。

〔今泉海事振興部次長から資料９に基づき説明〕

【高橋部会長】

ありがとうございます。

ただいまの報告内容について、何かご意見、ご質問はございますか。

これは変更なしですか。

【今泉海事振興部次長】

一応開催してみて、もし何か不都合等があれば、変更が必要となれば検討させていただきますと思います。

【高橋部会長】

分かりました。単純に奇数偶数となっていたので、年度初めと年度の最後の４月、３月は対面にしたほうがいいのかと思ったのと、あと最賃の絡みがあるので、今年は１２月がたまたま最賃の答申の絡みで対面だったのですが、最賃の答申が時期によっては１月にずれるとか、あるいは１１月の会議で決定するとなっ

たときに、最賃はやはり対面でないとよくないかなと思ったので、そこはちょっと柔軟にできるかどうか、確認ですが。

【今泉海事振興部次長】

その辺は最賃の絡みもございますので、状況を見ながら対面またはウェブということで、早めに事務局のほうで皆様のほうに。

【高橋部会長】

なので、1月2月をウェブにして、3月は年度末なので対面としてもいいかなと思ったので、ちょっとそれも事務局で。

【今泉海事振興部次長】

分かりました。今年も1月2月はウェブで行っておりましたので、やはり3月は年度末ということで対面がいいということになりましたら、そのように変更することも可能です。

【高橋部会長】

分かりました。では、その辺よろしくお願いします。

【増田部会長代理】

先ほどハイブリッドでやっているところもあったとお聞きしたのですけれども、なかなか両方やるのは準備が大変だと思うんです。やられているところはどんな感じでやられているんでしょうか。

【今泉海事振興部次長】

やはりネット環境がどうしてもないといった方には、直接こちらのほうに。

【増田部会長代理】

来ていただいてもいいし、ウェブでもいいという、そういう選択だったんですね。分かりました。

【高橋部会長】

よろしいでしょうか。よろしくお願いいたします。

それでは、本日の議事に関してはこれで終了となります。

次回の船員部会は4月21日金曜日の13時30分から、会場は2階会議室で開催
します。これは対面です。

◎閉 会